

リハビリテーション学科

【科目名】 社会・集団・家族心理学		【担当教員】 大矢 薫
【授業区分】 専門分野(公認心理師養成科目)	【授業コード】	(メールアドレス)
【開講時期】 後期	【選択必修】 必修	ohya@nur05.onmicrosoft.com
【単位数】 1	【コマ数】 15コマ	(オフィスアワー) 12:40～13:30(月～金、火除く)
<p>【注意事項】</p> <p>(受講者に関わる情報・履修条件)</p> <p>「心理学概論」など心理学の基礎的な科目を履修していると、本講義の内容の理解が深まります。 この科目は実務経験者対応科目である。</p> <p>(受講のルールに関わる情報・予備知識)</p> <p>毎回、プリントを配布します。 講義を受けながら、もしくは講義後に空欄箇所を埋め、講義後はそのプリントを使って、一通り復習してください。 講義中に関連する文献を紹介するので、購入もしくは図書館で借りるなどして読んでください。 試験、小テストなどは原則として返却しません。 小テストのフィードバック・解説を他に支障のない範囲で行います。</p>		
<p>【講義概要】</p> <p>(目的)</p> <p>この科目は公認心理師養成のための必修科目である。 以下の～を中心に、公認心理師として必要なトピックを理解する。 対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 人の態度及び行動、 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響 当該科目と学位授与方針等との関連性；A-1,2、R-1,2,3</p> <p>(方法)</p> <p>毎回、プリントや資料を配布する。 社会・集団・家族心理学の各トピックについて、具体例を挙げながら解説する。</p>		
<p>【一般教育目標(GI0)】</p> <p>社会・集団・家族心理学の各トピックに関する基本的な知識を身につける。 実生活での家族を含む対人関係や社会的事象を科学的に理解するための視点を獲得する。</p>		
<p>【行動目標(SB0)】</p> <p>対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程を説明できる。 人の態度及び行動についてさまざまな理論を用いて説明できる。 家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について概説できる。</p>		
<p>【教科書・リザーブドブック】</p> <p>毎回、プリントや資料を配布する。</p>		
<p>【参考書】</p> <p>竹村和久 編 『社会・集団・家族心理学』 遠見書房(2,600円+税) 湯川進太郎・吉田富二雄 編 『スタンダード社会心理学』 サイエンス社(2,600円+税) 中釜洋子・野末武義・布柴靖枝・無藤清子 『家族心理学-家族システムの発達と臨床的援助』 有斐閣(2,500円+税)</p>		
<p>【評価に関わる情報】</p> <p>(評価の基準・方法)</p> <p>成績評価基準は、本学学則規程のGPA制度に従う。 小テストと定期試験を実施する。 出席点は評価に含みません。</p>		

【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計 (%)
総合評価割合		40	60						100
評価指標	取り込む力・知識	30	30						60
	思考・推論・創造の力	10	30						40
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								

【授業日程と内容】				
回数	講義内容	授業の運営方法 (講義・演習、教員、教室など)	学修課題(予習・復習)	時間 (分)
1-2	人の態度及び行動 社会的自己	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
3-4	人の態度及び行動 対人認知	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
5-6	人の態度及び行動 社会的推論・社会的感情	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
7-8	人の態度及び行動 態度変容	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
9-10	対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 対人関係	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
11-12	対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 社会的影響	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
13-14	対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 集団間関係	講義	講義プリントの完成・復習 関連する文献を読む	240分
15	まとめ	講義	今までの講義プリント、資料の復習	120分